

校訓 「宝積」^{ほうしゃく} ～人に尽くして見返りを求めない～

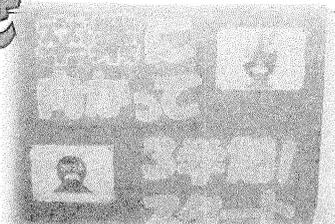


充実の冬休み・発→→→まよめの3学期・行き

冬休みの間、静まり返っていた校舎に、子どもたちの声が戻ってきました。それだけで、学校全体が温かく感じられます。いよいよ3学期がスタートしました。この3学期は、陸上の三段跳びに例えると、「ホップ・ステップ・ジャンプ」の「ジャンプ」にあたる学期です。42日間（6年生は43日間）の最も短い学期ですが、1年間の総まとめを行いながら、進学・進級に向けた飛躍の学期にしたいものです。そこで、始業式では、あっという間に過ぎていく3学期だからこそ、2学期までの自分自身を振り返り、「宝積」の心を大切にしながら、次の学年につながる3学期にしてほしいという話をしました。また、1月1日に起きた能登半島地震についても触れました。保護者や地域の皆さんも、報道を見聞きしながら、東日本大震災津波のことを思い出されたことと思います。子どもたちは、大震災津波の後に生まれたので、当時のことは分からないと思いますが、沿岸被災地の被害、本宮小も避難所となり不安な日々を過ごしたこと、全国各地からの支援により今があることなどを伝えました。「宝積」の心を高めている子どもたちは、真剣なまなざしで話を聞いていました。それぞれ感じるものがあったようです。

始業式の後は、各学級で冬休みの思い出などの発表が行われ、それぞれの充実した冬休みを分かち合うことができました。また、それぞれのめあてや係を決めるなどの活動を行い、3学期に向けたスタートを切ることができました。

今学期も、学校、家庭、地域の連携のもと、子どもたちの健やかな成長に向けて取り組んで参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



小学校教育最後の学期の始まり（6年）



休み中の課題を確認しました（2年）



作品に名札をていねいにつけました（3年）



スキー山で、そり遊び。校庭にも楽しげな声が響きます。

本宮小 Facebook はじめました

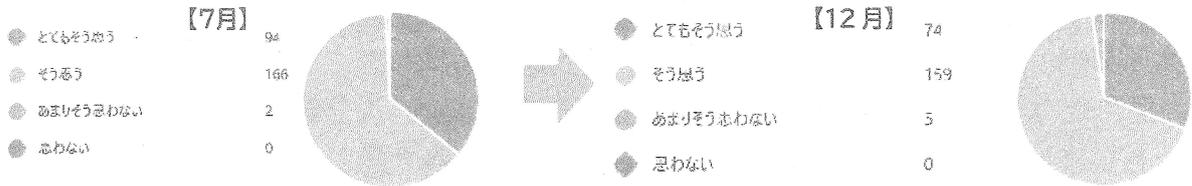
日頃から、本宮小学校の教育活動に対しまして、格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。これまで、学校の様子を校報や学年通信などを通してお知らせしてきましたが、この度、Facebookも活用してお知らせすることとしました。人やもの、ことごとく関わりながら、「宝積」の心を耕している子どもたちの様子を発信していきたいと考えています。右のQRコードからアクセスいただければ幸いです。なお、お子さんの写真の掲載について、遠慮されるご家庭におかれましては、学級担任にお申し出くださいますようお願いいたします。



令和5年度 本宮小学校 保護者アンケート (7月・12月実施) 結果【学校の取組】

ご回答いただきありがとうございます。今回から5回に分けて結果をお知らせいたします。

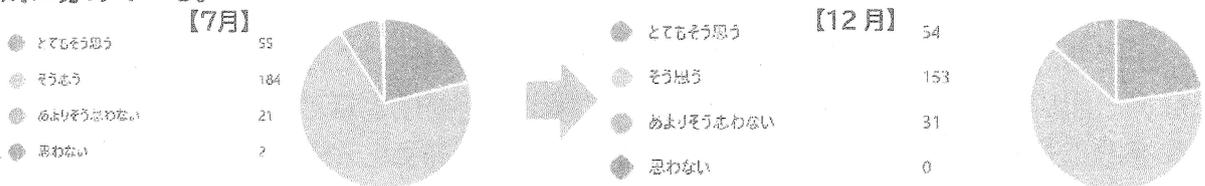
問1 学校は、PTA 総会や校報、学年通信等で、学校教育目標に向けた各学年等の取組を伝えるように努めている。



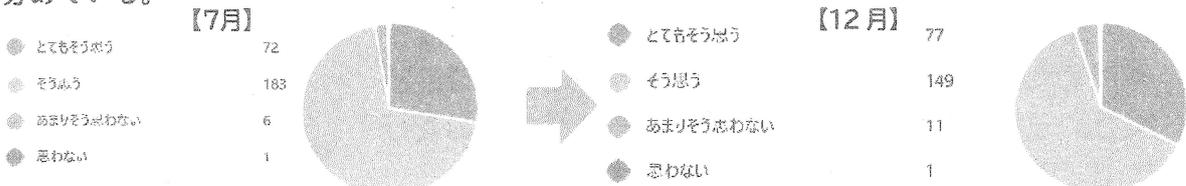
問2 学校は、挨拶運動や宝積活動、異学年活動等を通して「思いやりのあるあかるい子ども」の育成に努めている。



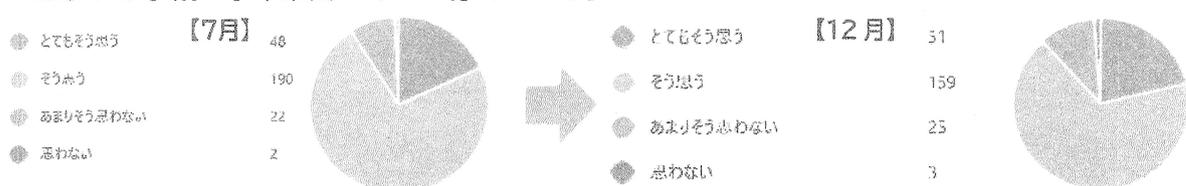
問3 学校は、授業の充実、個に応じた指導、家庭学習等を通して「進んで学習するかしこい子ども」の育成に努めている。



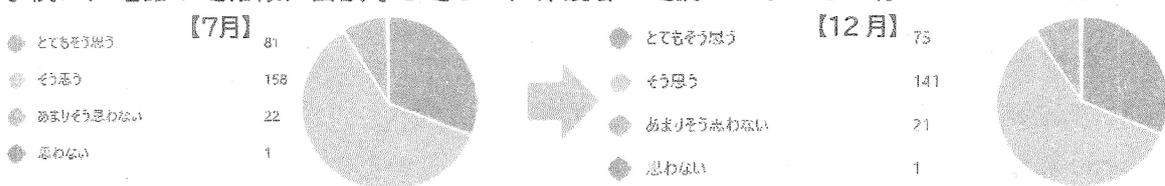
問4 学校は、ぐんぐんマラソンや食育、保健指導等を通して「体をきたえるたくましい子ども」の育成に努めている。



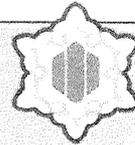
問5 学校は、問題行動等への未然防止・組織的対応、道徳教育等により、互いを尊重し、心豊かに主体的に生活する学級・学年集団づくりに努めている。



問6 学校は、電話や連絡帳、面談等を通して、保護者と連携して子どもを育てていこうと努めている。



すべての項目で肯定的評価が85%以上となっていますが、7月実施時と比較すると、肯定的評価が低くなっている設問があります。これらについては、3学期以降の取組に生かしていくとともに、取り組んでいることを保護者と情報共有しながら同一歩調で進めていきたいと考えますので、今後もよろしく願いいたします。



校訓 「宝積」^{ほうじやく} ～人に尽くして見返りを求めない～

学校・家庭・地域の連携協働で育む「宝積」の心

1月24日（水）、保護者や地域の方々など、約100名の参加のもと、本宮小学校区教育振興運動実践発表会が開催されました。

オープニングは、郷土芸能を通して地域で子どもたちを育てている大宮神楽に飾っていただきました。実践発表では、地区子ども会の活動発表として、本宮一丁目、本宮三丁目、本宮第四、向中野三丁目、下鹿妻の五つの子ども会が発表を行いました。コロナのために中断していた活動が少しずつ再開し始めたところですが、地域の方々や学年の枠を超えた子どもたち同士のふれあいの楽しさが伝わってきました。また、児童会運営部は、学校生活をよりよくするための「思いやり宣言」の活動について発表を行いました。そして、人やもの、ことがらとの豊かな関わりの中で「宝積」の心を育むことを目指しながら取り組んでいる生活科と総合的な学習の時間について、研究主任の矢澤慎先生が発表を行いました。さらに、図書ボランティア「みみずく」の皆さんから、読み聞かせや環境づくりの活動について発表いただきました。

盛岡市教委の工藤咲香主任指導主事からは、地域の特色を生かした手作りの活動が子どもの豊かな心の育成につながり、そのことが子どもの姿を通して実感できること等の講評をいただきました。学校・家庭・地域の連携・協働の大切さを共有できたひとときとなりました。

本校では、地域とともにある学校を目指し、コミュニティ・スクール（CS）の導入に向けて、準備委員会を開催しています。10月25日（水）には、県教委の阿部勲寿主任指導主事からCSについての説明をいただき、12月25日（月）には、盛岡教育事務所から山本淳主任社会教育主事と神崇尋社会教育主事をお迎えして、育みたい本宮の子の姿についてワークショップを行いました。本年度中にCSを導入し、学校・家庭・地域の一層の連携による教育振興運動の充実を通し、子どもたちに「宝積」の心を育てていきたいと思えます。



教振発表会 : 大宮神楽の舞

子ども会活動発表（下鹿妻）

図書ボランティア「みみずく」

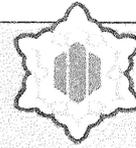
CS準備委員会のワークショップ

避難訓練 ～不審者対応～

1月19日（金）に、不審者が学校に入ってきたことを想定した避難訓練を行いました。職員や子どもたちにだけわかる不審者侵入を知らせる放送の後、各学級の担任の指示に従い、机や椅子で教室にバリケードを作り、危険が去るまで身を隠していました。事前や事後の指導では、静かに身を隠すことなどの避難の仕方について、その理由も考え、安全への意識を高めました。



机や椅子でバリケードを素早く作り、身を隠しました



校訓 「^{ほうじやく}宝積」 ～人に尽くして見返りを求めない～

「宝積活動」を振り返る～宝積朝会～

1月31日(水)、JRC委員会の主催で宝積朝会が行われました。5月のJRC加盟式で発表された各学年の活動目標についての取組状況について、各学年代表児童から発表がありました。その発表から、どの学年においても「宝積」を意識した取組が進められてきたことが伝わってきました。本宮小学校最後の年となる6年生からは、朝の清掃活動はもちろんのこと、総合的な学習の時間で「宝積」の意味を改めて考え、1年生や近隣のこども園の子どもたちとのふれあい活動、校地内や原敬記念館、地域内の落ち葉清掃活動など、「宝積」を地域に広げる活動について発表がありました。他の学年においても、3学期のまとめと新しい学年に向けての決意が伝わってきました。これらの活動に対し、JRC委員会から表彰状が授与されました。

また、JRC委員会は、全校に宝積の心や思いやりの心を広げることが目標に活動しており、このほど「思いやり標語」募集を行いました。その入賞作品は昇降口に掲示されていますが、金賞受賞の子どもたちの標語の発表も行われました。気持ちが温くなる標語により、さらに「宝積」の心が深まっていくことを願っています。

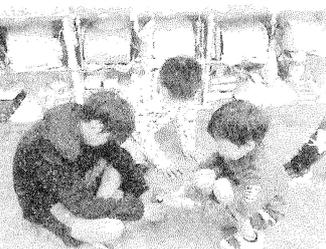
【思いやり標語】	「おもいやり そのひとことで えがおあり」	1年	丹野倫太郎さん
☆金賞	「ほうじやくを みんなの心に ひびかせる」	2年	澁谷 紬さん
	「ぼくたちが ほうじやくすれば えがお出る」	3年	小島 充樹さん
	「本小から 笑顔の花が あふれるよ」	4年	飯田 ゆいさん
	「思いやる 気持ちをずっと 大切に」	5年	鈴木 快理さん
	「一言で 人の心は あたたまる」	6年	村山由佑香さん



JRC委員会から募金活動の結果についての報告がありました



各学年の「宝積活動」に対して、JRC委員会表彰が行われました



6年総合的な学習の時間「本宮地域宝積プロジェクト」より1年生との休み時間交流



落ち葉清掃活動

「宝積」の心がこもったプレゼント

「おお～！」宝積朝会の後、子どもたちの歓声が体育館に響きました。これは、岩手出身のメジャーリーガー・大谷翔平選手からグローブ(3つ)とメッセージが届いたことを伝えたためです。児童を代表して、体育委員長の兼澤穂さんが受け取りました。現在は、昇降口に展示してありますが、グローブを使いたい子どもたちが仲良く使うことができるように、使い方を体育委員会の子もたちが考えているところです。どのようなアイデアが出されるか楽しみです。

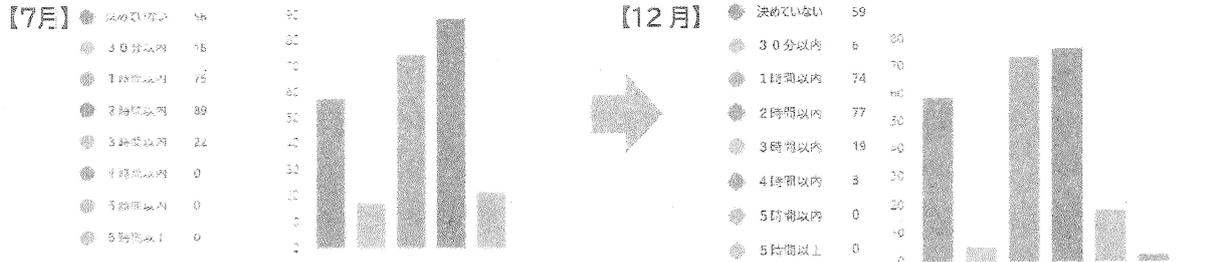


キャッチボールのデモンストレーションによるグローブのお披露目

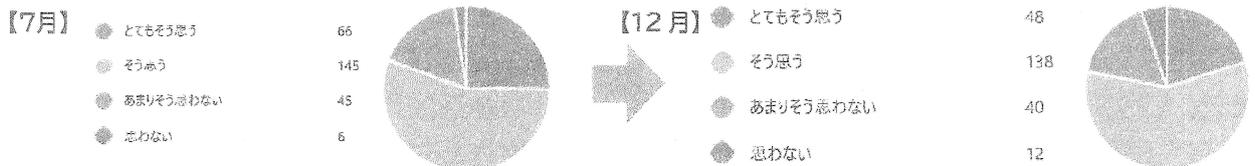
まさに大谷選手の「宝積」の心による贈物です

令和5年度 本宮小学校 保護者アンケート (7月・12月実施) 結果【情報メディア】

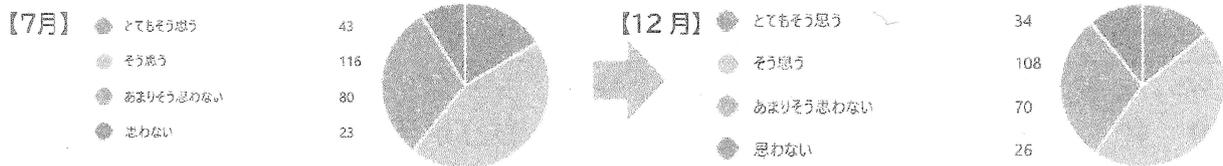
問12 家庭では、お子さんと1日あたりのメディア（ゲーム、動画、テレビ等）時間を決めている。



問13 家庭では、一日のお子さんのメディア（ゲーム、動画、テレビ等）時間を決めて、実行できるように声かけ等に努めている。



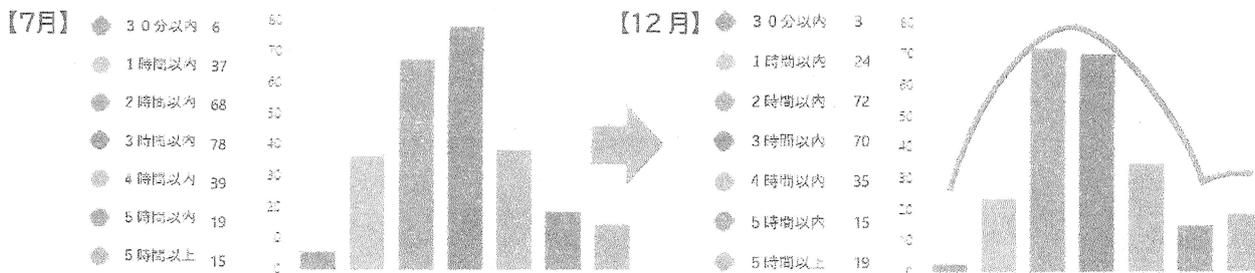
問14 お子さんは、保護者と決めた一日のメディア（ゲーム、動画、テレビ等）時間を守っている。



問15 お子さんの、平日1日あたりのメディア（ゲーム、動画、テレビ等）時間を記入ください。



問16 お子さんの、休日1日あたりのメディア（ゲーム、動画、テレビ等）時間を記入ください。



今回のアンケート調査の結果では、以下のことが明らかとなりました。

- ・ メディア時間が減った子どもがいる一方、さらにメディア時間が長くなった子どももいる。このことにより、本校の子どもたちのメディア時間は二つの山、いわゆる二極化となりつつある。
- ・ メディア時間が長い子どもたちの家庭は、一日あたりのメディア時間を決めていない割合が多い。

学校でもメディアとの上手な付き合い方について指導していきますが、各家庭でも子どもたちがメディアに触れる時間やルールの確認、ネット上の有害情報から子どもを守るためのフィルタリング設定などの対応をお願いします。

そして、メディア依存にならないためのリアルな体験の方と親子の豊かな会話についても、大切にしていきたいと思います。